

水泳の先生と再会
たくましく成長した巨根を
先生に見られ、
その後更衣室で
汗だくでSEX

夏の色が一層濃くなった7月下旬。

すでに夏至からずいぶん経ち、日は短くなっていっているというのに、この暑さはなんとかならないものだろうか。

そんな蒸し暑い気温の中、俺は一人の年上の女性と街中の屋内のエアコンもかかっていない場所にいた。

俺は今から丁度10年前“この施設”で教えを請うていたインストラクターの先生と夢中でセックスしていたのだ。

「ンジュパァ・・・チュブブ」

汗まみれになった先生の乳房に吸い付き、本能に立ちかえった俺は先生に甘える。

ブウウー————ンツツ・・・

入口のドアの上部に設けられた換気扇の鈍い音が響いている。

誰一人入ってくる様子のない男子更衣室の中、俺たちは何もかもを忘れて貪り合っていた・・・。

ふとしたきっかけで思わぬ再会というものは訪れる。

出会ったのは俺の行きつけのカフェだ。

いつも大学の講義が終われば他に用事がない時はそこへ出向き、課題をしたり、あるいは仲間たちとコミュニケーションを取っていた。

大学からも下宿先からも丁度良い距離にあって、穏やかな店内の雰囲気もお気に入りの場所なのだ。

その日は一人だった。

時間的にも気分的にも余裕があったので、入口の本棚の上に置かれた新聞を読みながらアイスマルクティーに挿し込んだストローを啜っていた。すると、右斜め前の席にどこか見覚えのある顔が……。

「あの……」

声をかけようか迷った。消極的な俺は普段であればかけなかったかもしれない。

だけど、全てはタイミングだ。

その日、俺は言いたくもない話だがサークルの女友達だった子に告白されてフラれたところだったのだ。

実に残念な話だ。

引っ込み思案な俺は、実を言うとまだ“童貞”だった。

だからこの時、ただ女性と話がしたいという下心だけだったのだろうと言われても否定はできない。

とにかくそんな経緯もあって、躊躇（ちゅうちょ）よりも勢いが勝ったのだと思う。

！！！！！！！！

やっぱりその女性は“先生”だった。

「すっ！！杉村君！！??」

先生もちゃんと覚えてくれていた。

思〇期を経て、背丈はもちろん顔だってある程度は変わっているはずなのだが、俺の面影を先生はちゃんと拾い上げてくれたのだ。

名前は吉岡実咲（よしおかみさき）先生という。

俺が〇学校の真ん中くらいの時に3年間ほど通っていたスイミングスクールの講師だ。

当時はまるでお姉さんのような若い先生だったが、とっても色気のある大人の雰囲気になった女性に変わっていた。

「だけど杉村君とこんなところで出会うなんてっ！」

「はいっ！ほんとビックリですよ」

俺たちは驚いた表情で、だけど喜悦の眼差しでお互い頬笑み合ったんだ。

久方ぶりの再会。

俺は先生がいた席に場所を移し、向かいに座った。

その後俺たちは、自分たちが注文していたアイスマルクティーとアイスコーヒーを飲むのも忘れてしばらく互いの“その後”について語り合った。

「へえ、そうなんだー。大学も近くを選んだのね」

興味深そうな眼差しを浮かべて俺のあれからを聞きいってくれる先生。そして俺もまた、そんな先生がどういう人生を過ごしてきたかに多大な関心を寄せていた。

先生は当時すでに結婚していて、それ以降も変わらず当時と同じ俺の実家のある街に旦那さんと暮らしていたらしい。5年前に子供が出来たとも話してくれた。

俺の実家は隣町にある。大学に入って親からは離れて暮らしたかった俺は、今下宿先に住んでいるが、実家から距離は近い。

先生とここで再会する可能性も頷けるわけだ。

だけど頭の片隅にもなかった再会に俺の心は揺れ動き、そしてあまりに懐かしくて照れくさい。

それでも、先生と話していると過去と未来がまるで混ざり合って溶けていくような感覚を覚えた。

懐かしい話に、昔の記憶が暖色を帯びて鮮明に蘇ったんだ。

「じゃあ一度行ってみようよ！」

そして話の流れで、俺たちは当時“先生と教え子”という関係で一緒だったそのスイミングスクールのプールへ行くことに決まった。

ちなみに先生は現在スイミング講師の職は引退し、銀行事務センターでの派遣業務をしているとのことだった。

そのプールはスポーツジムなどの付随施設も兼ねている商業プールだ。当時よりも設備が整い内装工事などもされていて、不思議と内観の懐かしさは感じなかった。

だけど足を踏み入れた瞬間に、ちゃんと懐かしい“塩素の匂い”がした。

「ねえ杉村君??一回泳いでみてよ!売店のところに水着が売ってるからさ!」

吉岡先生が突然の一言。ちょっといたずらっぽく微笑んでいる。

俺は動揺した。

「えっ!??だ、だけど水泳はあれからほとんどしてないし・・・それに恥ずかしいなあ」

俺の照れから来る軽い否定の言葉をよそに、俺のたくましくなった姿が見てみたいと言ってきかない先生。

結局先生の押しに負けて、俺は施設内の売店で水着を買いプールで泳ぐ羽目に・・・。

体験版はここまでです